

「5町内会の役員の皆さんと町長との語る会」記録（H28.12.18） 参加者 男性18人

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
1	<p>人口減少対策は「教育・子育て・雇用」の3つの対策が無いといけなく、仕事の無いところに定住はできない。そこでふるさと納税をいかに有効に使うかが大切であり、幅広い支援をしていただきたい。</p>	<p>「町長」 町内には優良企業も多く、この度の事業拡大等による雇用では、地元の町民を優先してくれる意向がある。しかし、町民の方は知らないのか、応募が少ないというミスマッチが起きているため、町でも情報提供していく。 また、企業による採用募集も通年行っているが、学校側は就活学生向けに情報提供しなくなってきている。町内会の役員の皆さんからも、頑張ろうという人がいたら、紹介してもらいたい。 ふるさと基金は、納税者の意思に沿って活用させていただくものであり、今回の地域交流・子育て支援施設整備にあたって基金を使わせていただく。その他にも教育や福祉、産業などでも有効に活用させていただく。</p>	産業振興課	(左記回答のとおり)
2	<p>県道ではLED照明が進んでいる。横内町内会内の防犯灯は15基のうち2基がLEDとなった。町から半額助成があるが、補助率を半額以上にしたい。 壊れたところから対応しているのは、町内会にお金が無いからであり、お金があればランニングコストのことも考慮するとLED化したい。 堤野は町からの自治振興交付金も合わせて年間の町内会予算が100万円くらいであり、公民館の修繕も必要と考えているので、防犯灯までお金が回らない。 【参考：LED化の状況】 横内:2基、堤野:0基、竹原田:1基、小尺:約半数(7~8基)、加沼:1基</p>	<p>「町長」 町内会への防犯灯整備に対する助成は、現在は半額助成となっている。しかし、お話しにあったとおり世帯数が少ない町内会では負担が大きくなる。 「副町長」 一律半額助成ということ、傾斜配分した助成率に改めるなど、助成のあり方を検討しなければならないと感じた。担当課に伝えます。</p>	総務課	防犯灯のLED化に対する補助事業は、平成26年度から実施し3年を経過しようとしているところだが、その補助実績は約26%と低い状況にある。また、LED化の取り組みが全くない町内会もあるところであり、事業の推進を図る観点からも補助率の改定など見直しを検討したい。

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
3	町内会内に空き家があるが、地権者による管理がされておらず、荒れ放題。電気も通っており、火災も懸念されるが、地権者には連絡もとれず、町内会でいかんともしがたい。町からも対応に協力していただきたい。町の窓口はどこか。	<p>「町長」 空き家対策については毎年話題になるが、国の制度によるところが大きい。現時点では行政でも木の伐採もできず、行政的な代執行ができないため、行政が危険な空き家に対応できるような法律改正がないと解決できない。</p> <p>「副町長」 これからもますます増える事案であり、困っているのは町内会。相続放棄している場合で、仮に町が代執行すると、経費も皆さんの税金である町の経費で負担することになり、一度してしまうと放置すれば町が何とかしてくれるとなり、事案もますます増えてしまう。そうならないように、町内会と情報連携を図りながら対応を検討していきたい。なお、活用できる空き家の情報も空き家バンクとして町でも管理していきたい。</p> <p>空き家の役場の窓口は、来年度から建設環境課に1本化する。</p>	総務課 企画調整課 建設環境課	本町における空き家対策については、現在、総務課、企画調整課及び建設環境課が連携を図りながら、その対策に取り組んでいる。しかしながらいまだに改善されない危険空き家も残っていることから、今後は、迅速かつ効率的・効果的な取り組みを推進するため、空き家等に関する窓口は、来年度から建設環境課に一本化し、当該業務については、建設環境課が所管することとしている。
4	町内会長会議等が平日の日中開催されているが、現役世代の人にとっては出にくいため、考慮していただきたい。	<p>「町長」 会議時間の短縮を図っているものの、負担となっているため、考慮していきたい。</p>	総務課	町長の答弁のとおり、会議時間をできる限り短縮するなど、町内会の負担が軽減するよう対応したい。
5	町道の修繕箇所を補修してもらおうなど、小まめに対応してもらっているが、これからの修繕、維持管理計画を目に見えるようにしてもらいたい。	<p>「企画調整課長」 町では長寿命化計画もあり、計画年次も立てている。担当課に伝えます。</p> <p>「町長」 町道であれば町で維持管理対応できるが、県道は改良が遅れてしまっている。議会と一緒に、支庁に強く言っている状況です。</p>	建設環境課	集落と集落を結ぶ幹線町道については、平成27年度に長寿命化を図るための「道路舗装補修計画」を策定し、国の補助制度を活用しながら改修している。 また、路線ごとの年次計画については、毎年策定する3箇年ローリング方式による町総合計画実施計画により公表している。 今後も、道路パトロール等の日常点検により、要修繕箇所の早期発見並びに解消に努め、安全な道路環境の整備を図っていく。

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
6	高齢化に伴い、畑の放置が多くなってきており、心配だ。	「町長」 農地や農道の管理が大変で、どの町内会も同じ状況。共同作業の参加者も少なくなってきており、集落の環境美化活動も含め、人材確保が課題であると認識している。	産業振興課	農業委員会での農地パトロールで対象農地の把握に努めるとともに、地権者等による相談に応じ対処していく。
7	鶴岡市内で宅地分譲しているが、なかなか売れない一方で、三川は町ぐるみの子育て支援対策などの取り組みが充実しているため、転入するという声を聴く。町からは自信を持ってこれからも取り組んでもらいたい。	—	—	—